

# 一 般 演 題 発 表 に つ い て

## 1. 口演発表について

1) 口演時間 発表時間は8分、質疑応答が2分となります。

2) 発表方法・データ受付

発表は液晶プロジェクターを使用します。準備委員会で準備するOSはWindows、アプリケーションは、Microsoft社PowerPoint日本語版2013です。フォントは、OS標準で装備されているものをご使用ください。発表に使用するデータは、**8月29日(木)正午まで**メール([jard11@kokuhoken.jp](mailto:jard11@kokuhoken.jp))にてご送付願います。また、学術大会当日、以下の時間にPC受付にてファイルの確認をお願いします。また、バックアップとして、ファイルを記録したCD-Rもしくは、USBメモリを必ずご持参ください。

演題番号0-1~6...8:30~9:00      演題番号0-7~9...9:40~10:30

## 2. ポスター発表について

1) 貼出日時

ポスター発表のスケジュールは以下のようになります。

準備...8:30~8:50      討論...16:10~16:50      撤去...16:50~17:10

2) 諸注意

(1) ポスターパネルは掲示可能なスペースが横90センチ、縦180センチで、そのうち最上段の縦20センチは演題名等用のスペースとし、本文示説用スペースは横90センチ、縦160センチとします。

(2) 最上段左側の横20センチ、縦20センチは演題番号用スペースで演題番号は事務局が用意します。

(3) 最上段右側の横70センチ、縦20センチのスペースに、演題名、所属、発表者名を表示してください。

なお、演題名の文字は、1文字4センチ平方以上の大きさとします。また、共同演者発表の場合、発表代表者の前に○印を付けてください。

(4) ポスター余白の見やすい位置に、発表代表者が容易にわかるように手札判(縦105ミリ横80ミリ)程度の大きさの顔写真を掲示してください。

(5) ポスターには図や表を多用し、見やすいように作成してください。3メートルの距離からでも明瞭に読めるようにしてください。研究目的、材料及び方法、成績、考察、結論などを簡潔に記載してください(症例報告の場合は、緒言、症例、経過、予後、考察、結論)。

(6) ポスターはパネルにピンで留めますが、押しピンは発表者ご自身でご用意ください。

(7) ポスターを見やすくするために、バックに色紙を貼ることは発表者の自由です。

# プ ロ グ ラ ム

## ■ 大 会 日 程 ■

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
6F ホワイエ	総合受付(8:20~15:30) / クローク(8:20~17:10)								
講演会場	開会式	口演発表	教育講演 I	教育講演 II	総会	教育講演 III	口演発表	特別講演	
ポスター会場	ポスター発表							ポスター討論	
企業展示会場	企 業 展 示								
カフェテリア 2F				昼食会場					
							懇親会会場		

## ■ 8 月 31 日 ( 土 ) ■

### 講演会場

8:50~9:00      開会式

9:00~10:00      一般演題

演題番号 0-1 ~ 0-3            9:00~9:30            座長 堤 定美

○-1. カルボキシル基を導入したポリ(乳酸-ε-カプロラクトン)共重合体フィルムのアパタイト形成能について

○布施 恵<sup>1</sup>, 福本雅彦<sup>1</sup>, 早川 徹<sup>2</sup>

日本大学松戸歯学部歯科臨床検査医学講座<sup>1</sup>, 鶴見大学歯学部歯科理工学講座<sup>2</sup>

○-2. テラピア由来のコラーゲンによる胚性幹細胞の scaffold の開発

○今井弘一, 武田昭二

大阪歯科大学歯科理工学講座

○-3. 根尖部器質変化に対する PRP 手法を用いた根尖切除の臨床

○大久保賢亮<sup>1, 2</sup>, 大久保厚司<sup>1, 3</sup>, 辻本真規<sup>1, 2</sup>, 三橋淳也<sup>4</sup>, 三島弘幸<sup>5</sup>

日宇歯科<sup>1</sup>, 長崎大学大学院齶蝕学分野<sup>2</sup>, 日大松戸歯学部第二解剖学講座<sup>3</sup>,

日本大学松戸歯学部再生歯科治療学講座<sup>4</sup>, 高知学園短期大学医療衛生学科歯科衛生専攻<sup>5</sup>

演題番号 0-4 ~ 0-6            9:30~10:00            座長 石川 明

○-4. 骨再生を誘導する抗菌薬徐放複合体による顎骨骨髓炎治療

○槇石 潤<sup>1</sup>, 伊藤敦夫<sup>2</sup>, 浅野一成<sup>1</sup>, 松野智宣<sup>1</sup>, 佐藤田鶴子<sup>1</sup>

日本歯科大学口腔外科学講座<sup>1</sup>, 産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー部門・高機能生体材料グループ<sup>2</sup>

○-5. 脂肪組織幹細胞と多血小板血漿混合移植の硬組織再生における重要性

○田島聖士<sup>1, 2</sup>, 飛田護邦<sup>1</sup>, 水野博司<sup>1</sup>

順天堂大学医学部形成外科<sup>1</sup>, 自衛隊横須賀病院歯科診療部<sup>2</sup>

○-6. Diffusion Tensor-Magnetic Resonance Imaging(DT-MRI)技術を応用した軟骨の組織構造の *in vivo* 評価技術

○堤 定美

日本大学松戸歯学部歯科医工学講座

10:00~10:50    教育講演 I            座長 松江美代子

「ヒトの歯の再生に向けた戦略と展望」

岩手医科大学解剖学講座発生生物再生医学分野 原田 英光 先生

11:00~11:50    教育講演 II            座長 木村 功

「細胞培養における無血清培地の重要性」

株式会社 シームス 漆畑 直樹 様

12:50~13:30    総会

13:30~14:20    教育講演 III            座長 大久保厚司

「脂肪由来幹細胞を用いた粘膜免疫の再生」

The University of Alabama at Birmingham, Department of Pediatric Dentistry 藤橋 浩太郎 先生

14:30~15:00    一般演題

演題番号 0-7 ~ 0-9            14:30~15:00            座長 谷本安浩

○-7. 微小細胞組織の弾性率を生きたまま非破壊・非接触で測定する

○堤 定美

日本大学松戸歯学部歯科医工学講座

○-8. ラット骨髄由来細胞の増殖・分化における炭酸含有アパタイトの焼結温度依存的影響

○尾上一平<sup>1</sup>, 川木晴美<sup>2</sup>, 近藤雄三<sup>1</sup>, 高橋 潤<sup>1</sup>, 神谷真子<sup>2</sup>, 土井 豊<sup>3</sup>, 永原國央<sup>1</sup>, 近藤信夫<sup>2</sup>

朝日大学歯学部口腔病態医療学講座インプラント学分野<sup>1</sup>，口腔構造機能発育学講座口腔生化学分野<sup>2</sup>，口腔機能修復学講座歯科理工学分野<sup>3</sup>

○-9. 炭酸含有アパタイトの骨芽細胞増殖分化促進効果の検討

○近藤雄三<sup>1</sup>，川木晴美<sup>2</sup>，尾上一平<sup>1</sup>，高橋 潤<sup>1</sup>，神谷真子<sup>2</sup>，土井 豊<sup>3</sup>，永原國央<sup>1</sup>，近藤信夫<sup>2</sup>

朝日大学歯学部口腔病態医療学講座インプラント学分野<sup>1</sup>，口腔構造機能発育学講座口腔生化学分野<sup>2</sup>，口腔機能修復学講座歯科理工学分野<sup>3</sup>

**15:00~16:00 特別講演 座長 和田守康**

「粘膜免疫機構の解明とワクチンの臨床応用」

東京大学医科学研究所 所長 清野 宏 先生

**ポスター会場**

**9:00~16:50 ポスター発表 (討論時間 16:10~16:50)**

P-1. ヒト歯肉線維芽細胞に対する bFGF および IGF-I の増殖促進効果の比較

○竹内麗理<sup>1</sup>，牧村英樹<sup>2</sup>，和田守康<sup>2</sup>

日本大学松戸歯学部薬理学講座<sup>1</sup>，再生歯科治療学講座<sup>2</sup>

P-2. マウス ES 細胞機能を制御する歯髄擬態マトリックスの開発

○尾関伸明，山口秀幸，檜山太希，川合里絵，中村 洋

愛知学院大学歯学部歯内治療学講座

P-3. iPS 細胞由来象牙芽細胞において IL-1 $\beta$  誘導 MMP-3 は細胞増殖と抗アポトーシス作用を制御する

○山口秀幸，尾関伸明，檜山太希，川合里絵，中村 洋

愛知学院大学歯学部歯内治療学講座

P-4. マウス ES 細胞由来高純度象牙芽細胞における炎症性サイトカイン誘導 MMP-3 の細胞増殖と抗アポトーシスの制御

○檜山太希，尾関伸明，山口秀幸，川合里絵，中村 洋

愛知学院大学歯学部歯内治療学講座

P-5. ストロニウムは脱分化脂肪細胞の軟骨分化を促進する

○沖田直也<sup>1</sup>，本田義知<sup>2</sup>，岸本直隆<sup>3</sup>，橋本典也<sup>4</sup>，有馬良幸<sup>1</sup>，西浦亜紀<sup>1</sup>，松本尚之<sup>1</sup>

大阪歯科大学歯学部歯科矯正学講座<sup>1</sup>，中央歯学研究所<sup>2</sup>，歯科麻酔学講座<sup>3</sup>，歯科理工学講座<sup>4</sup>

P-6. コラーゲンをスキャホールドとして 3 次元培養した HMS0014 細胞による硬組織形成

○三上 豊，隈部俊二，岩井康智

大阪歯科大学口腔解剖学講座

P-7. ES 細胞を用いた歯科用接着性モノマーの発生毒性スクリーニング試験

○今井弘一，武田昭二

大阪歯科大学歯科理工学講座

P-8. ヒト頬脂肪体由来脱分化脂肪細胞と脂肪幹細胞の細胞表面抗原解析

○岸本直隆<sup>1,3</sup>，百田義弘<sup>1,3</sup>，橋本典也<sup>2</sup>，安東佳代子<sup>1</sup>，大政健史<sup>3</sup>，小谷順一郎<sup>1</sup>

大阪歯科大学歯科麻酔学講座<sup>1</sup>，歯科理工学講座<sup>2</sup>，徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部<sup>3</sup>

P-9. 象牙質・幹細胞複合体の骨再生への応用

○田中雅士<sup>1</sup>，川木晴美<sup>2</sup>，小栗健策<sup>1</sup>，森 春菜<sup>1</sup>，神谷真子<sup>2</sup>，吉田隆一<sup>1</sup>，近藤信夫<sup>2</sup>

朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野<sup>1</sup>，口腔構造機能発育学講座口腔生化学分野<sup>2</sup>

- P-10. 培養幹細胞を用いた象牙質顆粒の機能解析  
○小栗健策<sup>1</sup>, 川木晴美<sup>2</sup>, 田中雅士<sup>1</sup>, 森 春菜<sup>1</sup>, 神谷真子<sup>2</sup>, 吉田隆一<sup>1</sup>, 近藤信夫<sup>2</sup>  
朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野<sup>1</sup>, 口腔構造機能発育学講座口腔生化学分野<sup>2</sup>
- P-11. インプラントに用いる垂直的, 水平的骨再生の臨床  
○大久保厚司<sup>1,2</sup>, 大久保賢亮<sup>1,3</sup>, 辻本真規<sup>1,3</sup>, 三橋淳也<sup>4</sup>, 三島弘幸<sup>5</sup>  
日宇歯科<sup>1</sup>, 日本大学松戸歯学部第二解剖学講座<sup>2</sup>, 長崎大学大学院齶蝕学分野<sup>3</sup>, 日本大学松戸歯学部再生歯科治療学講座<sup>4</sup>, 高知学園短期大学医療衛生学科歯科衛生専攻<sup>5</sup>
- P-12. genistein によるラット歯髄細胞の石灰化メカニズムの詳細について  
○半田慶介, 林 敬次郎, 小池俊之, M A A Polan, 唐 佳, 斎藤隆史  
北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系う蝕制御治療学分野
- P-13. 新規モノマーCMET 配合シーリングコート材の象牙質再石灰化への影響  
○伊藤修一, 甕 富美子, Nahid Al NOMANN, 斎藤隆史  
北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系う蝕制御治療学分野
- P-14. ヒト骨髄間葉系幹細胞を用いたES細胞の誘導に関する研究—エピジェネティック制御と細胞の初期化—  
○伊澤俊次, 山路公造, 星加知宏, 西谷佳浩, 吉山昌宏  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯科保存修復学分野
- P-15. 低出力超音波パルスと増殖因子を用いた低侵襲性骨再生療法の開発  
○横山章人, 山路公造, 塩出信太郎, 伊澤俊次, 西谷佳浩, 吉山昌宏  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯科保存修復学分野
- P-16. 炭酸含有アパタイトの骨髄由来間質細胞の接着・増殖促進効果の検討  
○高橋 潤<sup>1</sup>, 川木晴美<sup>2</sup>, 尾上一平<sup>1</sup>, 近藤雄三<sup>1</sup>, 神谷真子<sup>2</sup>, 土井 豊<sup>3</sup>, 永原國央<sup>1</sup>, 近藤信夫<sup>2</sup>  
朝日大学歯学部口腔病態医療学講座インプラント学分野<sup>1</sup>, 口腔構造機能発育学講座口腔生化学分野<sup>2</sup>, 口腔機能修復学講座歯科理工学分野<sup>3</sup>
- P-17. ヒアルロン酸が骨芽細胞接着に与える影響  
○廣田秀逸<sup>1</sup>, 川本章代<sup>1</sup>, 吉川美弘<sup>2</sup>, 高橋一也<sup>1</sup>, 池尾 隆<sup>2</sup>, 小正 裕<sup>1</sup>  
大阪歯科大学高齢者歯科学講座<sup>1</sup>, 生化学講座<sup>2</sup>
- P-18. 唾液腺介在部導管細胞はCD117 と CD66a を指標にして分離できる  
○竹山 旭<sup>1</sup>, 吉川美弘<sup>2</sup>, 池尾 隆<sup>2</sup>, 森田章介<sup>1</sup>, 檜枝洋記<sup>3</sup>  
大阪歯科大学大学院口腔外科学1講座<sup>1</sup>, 生化学講座<sup>2</sup>, 生物学教室<sup>3</sup>
- P-19. 骨芽細胞のスフィンゴミエリン合成酵素2(SMS2)がRXR発現に及ぼす影響  
○加山智規<sup>1</sup>, 吉川美弘<sup>2</sup>, 池尾 隆<sup>2</sup>, 岡崎定司<sup>1</sup>  
大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座<sup>1</sup>, 生化学講座<sup>2</sup>